

# 血管外科

指導医

目黒 昌



## 血管外科？

「血管外科」という科名になじみのない方も多いかと思いますが。日本では心臓血管外科と称して心臓と血管の両方を扱うのが一般的だからです。しかし世界的にみれば両者は別の領域として扱われることが多く、研修システムなどもはっきりと分かれています。心臓と血管では臓器そのものが違いますし、臓器が違えば診断も治療も異なるわけですから、むしろ当然のことかもしれません。ではなぜ日本では両者がくっついたままなのでしょう。いろいろな理由はあるでしょうが、「心臓の手術ができれば血管の手術ができる」という考え方が根底にあることも1つの理由でしょう。

ここからは私見ですが、心臓外科医はライオンなどの肉食動物、血管外科医はシマウマなどの草食動物の雰囲気を持っています。学会上で隙あらば「ガオーツ」と噛みつきそうな表情で議論に参加するのが心臓外科医、もぐもぐ草を食むように穏やかに話すのが血管外科医といえましょう。今の日本ではライオンさん達の声が優勢であるがために心臓血管外科のままなのではないかと思われる。なにはともあれ血管外科に興味のある方が研修に来られることを願っています。シマウマ(時にライオン)の私がお相手いたします。

# 麻酔科

指導医

佐藤 一 範



## 麻酔科

麻酔科の役割は手術患者の術前状態を正確に把握し、綿密な麻酔計画に基づいた術中管理を行い、術後疼痛を除去することであり、麻酔科学は周術期の全身管理学と言える。この認識を持ってもらうことが本研修の目的である。また、手術患者の麻酔管理を通じて、気道確保、人工呼吸、輸液管理、循環作動薬の使用などを経験することができ、救急救命の基本となる呼吸・循環管理の研修が可能である。

# 病理部

指導医

五十嵐 俊彦



## 病気の真実を徹底的に解明しよう

私どもは、日々進歩をとげる医療に対応できる病理検査を目指し、開設以来培ってきた熟練した技術とともに、遺伝子検査など先進かつ高度な臨床検査技術を積極的に導入することにより、病気の真実を徹底的に解明し、豊富な知識を持った専門医により精度の高い病理診断を行っております。県内厚生連諸病院とネットワークされた遠隔画像伝送システム(テレパソロジー)は、各病院における手術時の迅速病理診断を可能とし、患者さんへの適切な医療技術の提供をサポートしております。